

平成29年11月7日

平成29年度 消防庁における熱中症対策

1. 救急搬送人員数調査

○ 平成29年度調査概要

方法：サーベイランスシステムを使って、全国の各消防本部のデータを集計

期間：5月1日～10月1日

公表：週毎に速報値、月毎に確定値を公表

○ 平成29年度調査の結果

- ・ 5月から9月までの全国における熱中症による救急搬送人員数の累計は52,984人
- ・ 月別の救急搬送人員数は、5月3,401人、6月3,481人、7月が26,702人、8月が17,302人、9月が2,098人となった。
- ・ 7月10日から8月6日の期間中、4週連続で5,000人を超え、熱中症による救急搬送人員数が集中した。

○ 調査データの公表

- ・ 11月1日に消防庁HPの「熱中症情報」へ掲載した。

2. 予防に係る普及啓発等

○ 消防の取り組み

- ・ 消防庁ホームページの「熱中症情報」サイトに、熱中症搬送人員数調査、及び予防啓発ビデオ、予防啓発イラスト、予防啓発広報メッセージ、熱中症対策リーフレット、熱中症予防啓発取組事例集等の情報を掲載。新たに予防啓発ポスターを作成し、消防庁ホームページに掲載するとともに、都道府県を通じて各消防本部に配布を行った。
(7月26日通知)
- ・ 消防庁ツイッター(フォロワー数:92万)を用いて、住民に熱中症予防を呼びかけた。
- ・ 九州北部豪雨による被災住民やボランティア等の方に対して、熱中症に対する注意喚起と予防方法についての積極的な情報提供を行うよう促した。(7月11日通知)

○ 関係省庁との連携

- ・ 環境省と連携し、3都市の熱中症による救急搬送人員数と、WBGT(暑さ指数)を関連させたデータを月報で公表した。
- ・ 関係省庁で作成した外国人のための熱中症予防普及啓発用リーフレットを、消防庁ホームページの「熱中症情報」サイトに掲載した。

平成 29 年（5 月から 9 月）の熱中症による救急搬送状況

熱中症による救急搬送人員数について、平成 29 年 5 月から 9 月までの確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

概 要

- 平成 29 年 5 月から 9 月の全国における熱中症による救急搬送人員数の累計は 52,984 人でした。昨年同期間の 50,412 人と比べると 2,572 人増となっています。
- 全国の熱中症による救急搬送状況の年齢区分別、初診時における傷病程度別、発生場所ごとの項目別の内訳等については次の通りです。
 - 年齢区分別にみると、高齢者が最も多く、次いで成人、少年、乳幼児、新生児の順となっています。
 - 初診時における傷病程度別にみると、軽症（外来診療）が最も多く、次いで中等症（入院診療）、重症（長期入院）、死亡の順となっています。
 - 発生場所ごとの項目別にみると、住居が最も多く、次いで公衆（屋外）、道路、仕事場①の順となっています。
 - ※公衆（屋外）とは、不特定者が出入りする場所の屋外部分
 - ※仕事場①とは、道路工事現場、工場、作業所等
 - 都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数は、沖縄県が最も多く、次いで鹿児島県、宮崎県、熊本県、佐賀県の順でした。

消防庁では、熱中症予防啓発のコンテンツとして、「予防啓発ビデオ」「予防啓発イラスト」「予防広報メッセージ」「予防啓発取組事例集」を消防庁 HP 熱中症情報サイトに掲載しています。今年度は、全国消防イメージキャラクターの「消太」を活用した熱中症予防を呼びかけるポスターを作成しました。

全国の消防機関をはじめ、熱中症予防を啓発する関係機関にも御活用いただけるよう、以下の消防庁 HP にコンテンツを掲載しています。是非御活用ください。

消防庁 HP『熱中症情報』 http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

【資料】平成 29 年（5 月から 9 月）の熱中症による救急搬送状況の概要

熱中症にご注意を!

バランスのよい食事
体調をととのえよう

(連絡先)

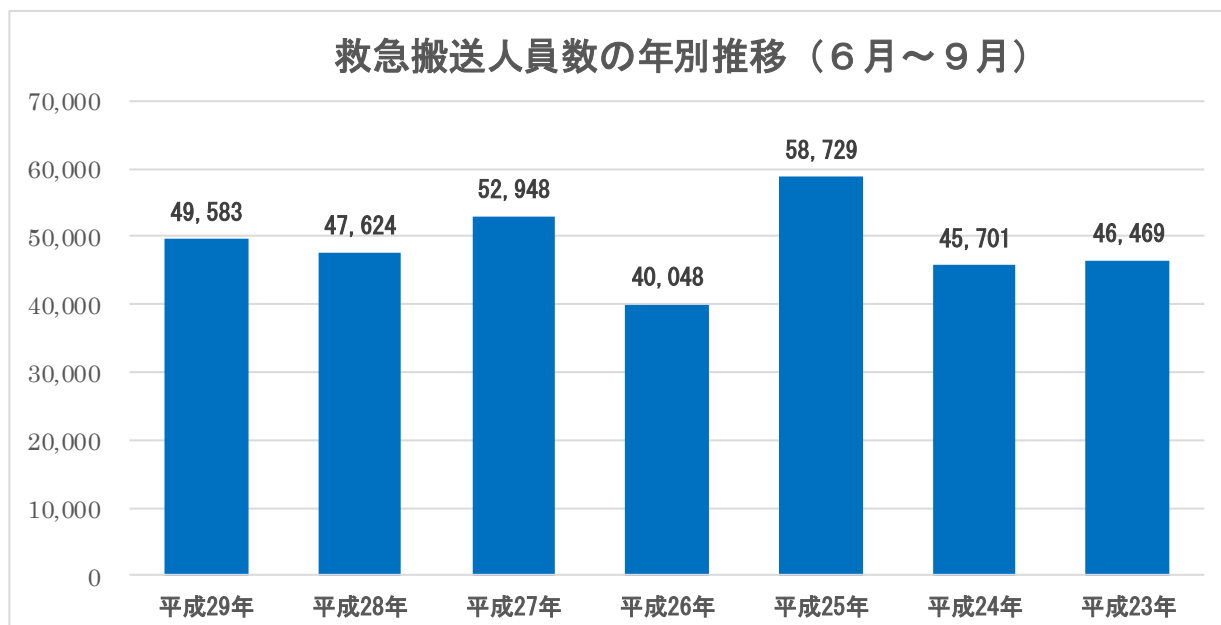
消防庁救急企画室
担当：森川、小川、中西
電話：03-5253-7529
FAX：03-5253-7532

平成29年（5月から9月）の熱中症による救急搬送状況の概要

平成29年5月から9月の熱中症による救急搬送状況について調査を行ったところ、その概要は以下のとおりでした。

1 総数

平成29年5月から9月の全国における熱中症による救急搬送人員数の累計は52,984人でした。昨年同期間の50,412人と比べると2,572人増となっています。（資料1、2、3、4、6、7、9）

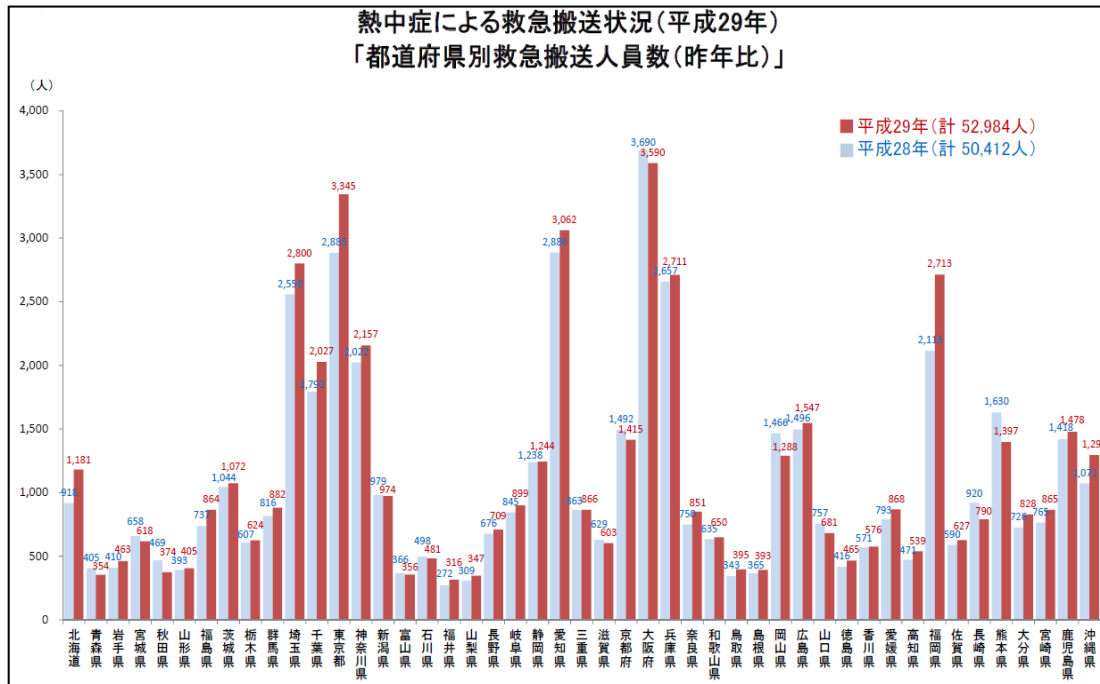


※平成26年までは5月分の調査を行っていないため、年別推移のグラフは6～9月で作成した。

熱中症による救急搬送状況（平成23年～29年） 「救急搬送人員数及び死亡者数（年別推移）」

（単位：人）

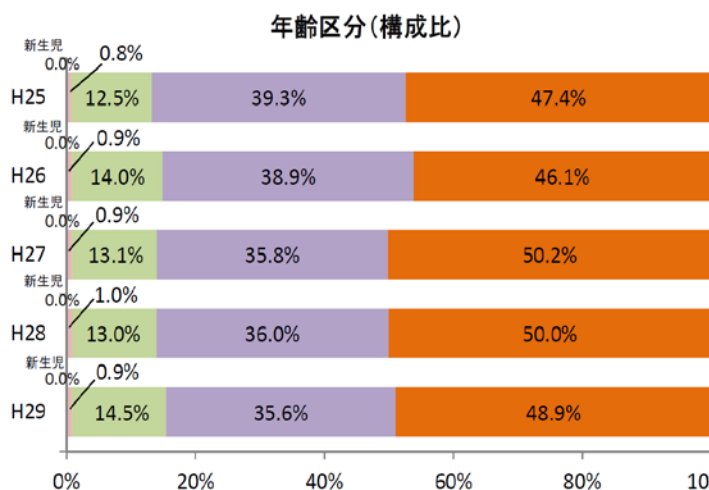
		平成29年(2017)		平成28年(2016)		平成27年(2015)		平成26年(2014)		平成25年(2013)		平成24年(2012)		平成23年(2011)	
		搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡
確定値	5月	3,401	2	2,788	1	2,904	3	調査データなし							
	6月	3,481	1	3,558	3	3,032	2	4,634	6	4,265	4	1,837	3	6,980	14
	7月	26,702	31	18,671	29	24,567	39	18,407	31	23,699	27	21,082	37	17,963	29
	8月	17,302	14	21,383	24	23,925	60	15,183	15	27,632	57	18,573	35	17,566	27
	9月	2,098	0	4,012	2	1,424	1	1,824	3	3,133	0	4,209	1	3,960	3
救急搬送人員数（5月から9月）		52,984	48	50,412	59	55,852	105								
救急搬送人員数（6月から9月）		49,583	46	47,624	58	52,948	102	40,048	55	58,729	88	45,701	76	46,469	73



2 内 訳

(1) 年齢区分別の救急搬送人員数

高齢者(満65歳以上)が最も多く25,930人(48.9%)、次いで成人(満18歳以上満65歳未満)18,879人(35.6%)、少年(満7歳以上満18歳未満)7,685人(14.5%)、乳幼児(生後28日以上満7歳未満)482人(0.9%)の順となっています。(資料4、6-1)



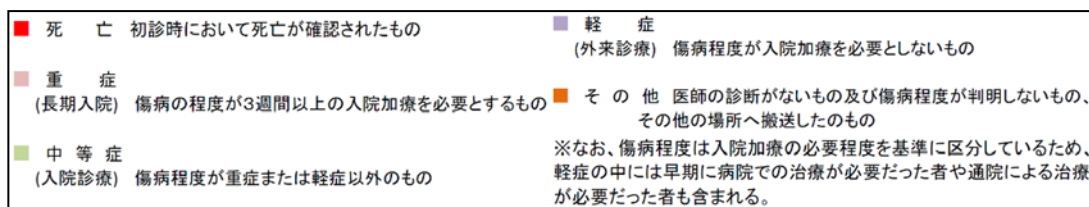
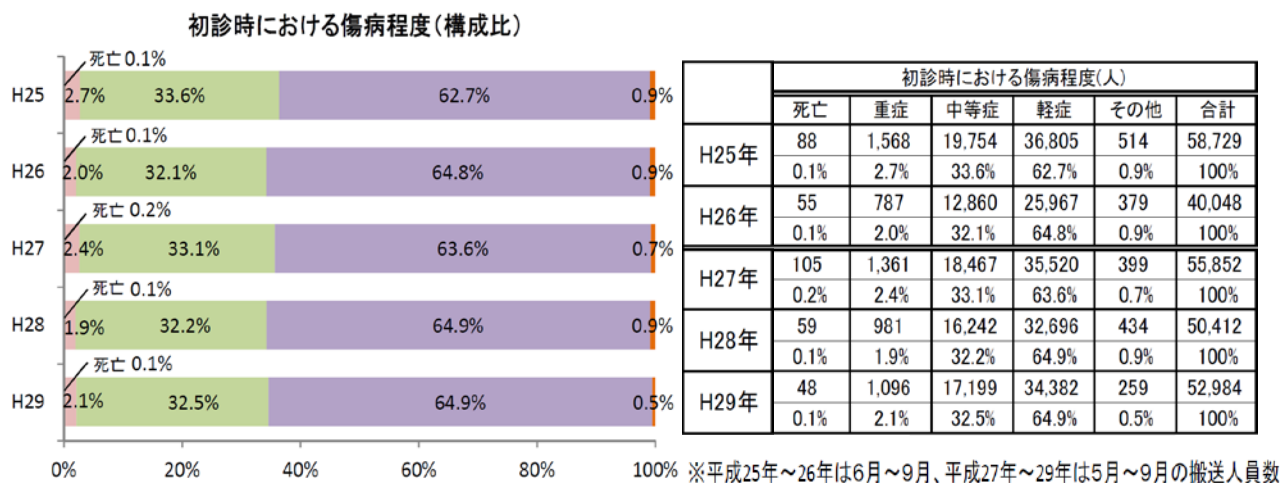
	年齢区分(人)					合計
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	
H25年	6	466	7,367	23,062	27,828	58,729
	0.0%	0.8%	12.5%	39.3%	47.4%	100%
H26年	4	359	5,622	15,595	18,468	40,048
	0.0%	0.9%	14.0%	38.9%	46.1%	100%
H27年	2	503	7,333	19,998	28,016	55,852
	0.0%	0.9%	13.1%	35.8%	50.2%	100%
H28年	4	482	6,548	18,150	25,228	50,412
	0.0%	1.0%	13.0%	36.0%	50.0%	100%
H29年	8	482	7,685	18,879	25,930	52,984
	0.0%	0.9%	14.5%	35.6%	48.9%	100%

※平成25年~26年は6月~9月、平成27年~29年は5月~9月の搬送人員数

■ 新生児: 生後28日未満の者	■ 成人: 満18歳以上65歳未満の者
■ 乳幼児: 生後28日以上満7歳未満の者	■ 高齢者: 満65歳以上の者
■ 少年: 満7歳以上18歳未満の者	

(2) 医療機関での初診時における傷病程度別の救急搬送人員数

軽症（外来診療）が最も多く 34,382 人（64.9%）、次いで中等症（入院診療）17,199 人（32.5%）、重症（長期入院）1,096 人（2.1%）、死亡 48 人（0.1%）の順となっています。（資料 4、6-1）

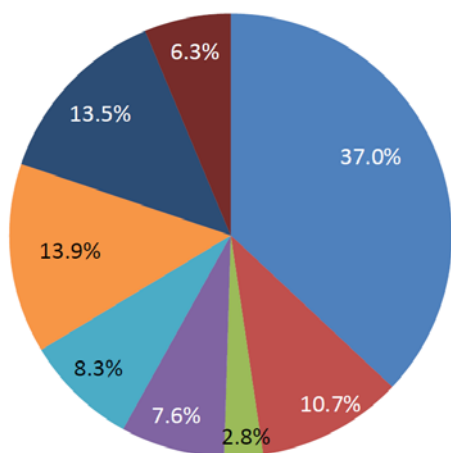


(3) 発生場所ごとの項目別の救急搬送人員数

住居が最も多く 19,603 人（37.0%）、次いで公衆（屋外）7,351 人（13.9%）、道路 7,131（13.5%）、仕事場①5,648 人（10.7%）の順となっています。（資料 4、6-2）

※公衆（屋外）とは、不特定者が出入りする場所の屋外部分
 ※仕事場①とは、道路工事現場、工場、作業所等

発生場所ごとの項目（構成比）（平成29年）

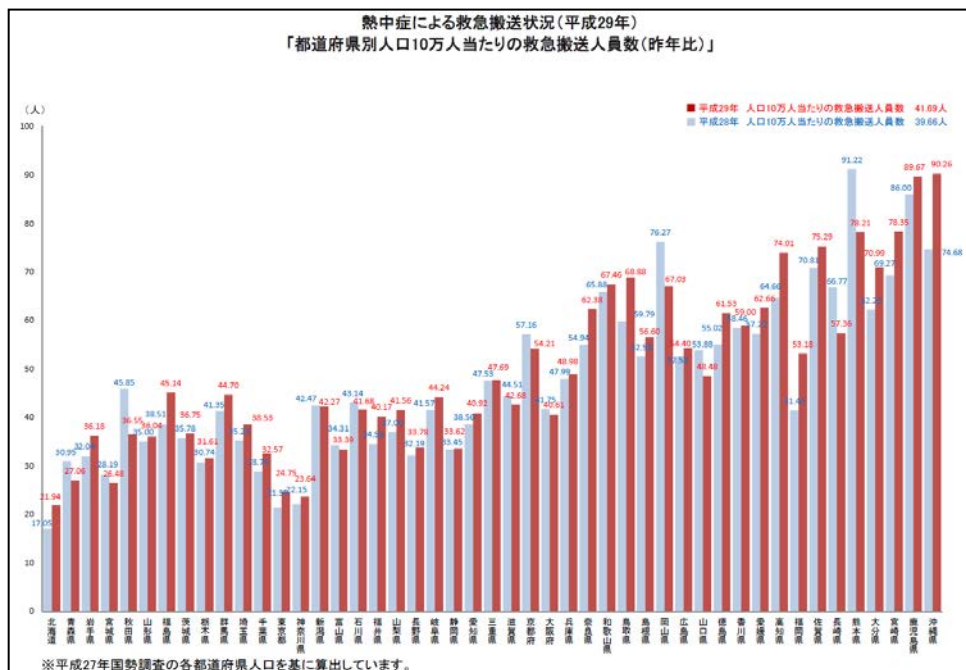


発生場所(人)								
住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計
19,603	5,648	1,490	4,037	4,385	7,351	7,131	3,339	52,984
37.0%	10.7%	2.8%	7.6%	8.3%	13.9%	13.5%	6.3%	100%



(4) 都道府県別人口 10 万人当たりの救急搬送人員数

沖縄県が最も多く 90.26 人であり、次いで鹿児島県 89.67 人、宮崎県 78.35 人、熊本県 78.21 人、佐賀県 75.29 人の順となっています。(資料 5、8)



【参 考】

- 消防庁では、熱中症予防啓発のコンテンツとして、「予防啓発ビデオ」「予防啓発イラスト」「予防広報メッセージ」「予防啓発取組事例集」を消防庁 HP 熱中症情報サイトで掲載しています。今年度は、全国消防イメージキャラクター「消太」を活用した熱中症予防を呼びかけるポスターを作成しました。

全国の消防機関をはじめ、熱中症予防を啓発する関係機関にも御活用いただけるよう、以下の消防庁 HP にコンテンツを掲載しています。是非御活用ください。

消防庁 HP 『熱中症情報』

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

- 気象庁報道発表資料「夏（6～8月）の天候」より抜粋
 - ・ 気温は、東・西日本で高く、沖縄・奄美でかなり高かった
日本の南海上では太平洋高気圧の西への張り出しが強く、本州付近には西よりの暖かい空気が流れ込みやすかったため、東・西日本で夏の平均気温は高かった。沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かったため、夏の平均気温はかなり高かった。
 - ・ 降水量は、北・東日本日本海側で多く、東日本太平洋側と西日本日本海側で少なかった
低気圧や前線の影響を受けやすかったため、夏の降水量は東日本日本海側でかなり多く北日本日本海側が多かったが、梅雨前線の影響を受けにくかった東日本太平洋側と西日本日本海側の夏の降水量は少なかった。
 - ・ 「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」が発生するなど、大雨となった所があった
梅雨前線の活動が活発となった時期があり、また湿った気流や上空の寒気などの影響で、全国的に大雨となった所があった。7 月 5～6 日には「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」が発生した。
 - ・ オホーツク海高気圧が出現し、北・東日本太平洋側では不順な天候となった時期があった
北・東日本太平洋側では、6 月と 7 月は梅雨前線の影響を受けにくく月間日照時間が多かったが、8 月上旬から中旬を中心にオホーツク海高気圧が出現したため、北・東日本太平洋側の 8 月の日照時間はかなり少なかった。

参照 URL : <http://www.jma.go.jp/jma/press/1709/01b/tenko170608.html>

○ 暑さ指数（WBGT）と救急搬送人員数とのデータ比較

暑さ指数と救急搬送人員数との関係について調査をするため、東京都、愛知県、大阪府で両者のデータを比較することにしました。（参考資料）

平成29年の熱中症による救急搬送状況

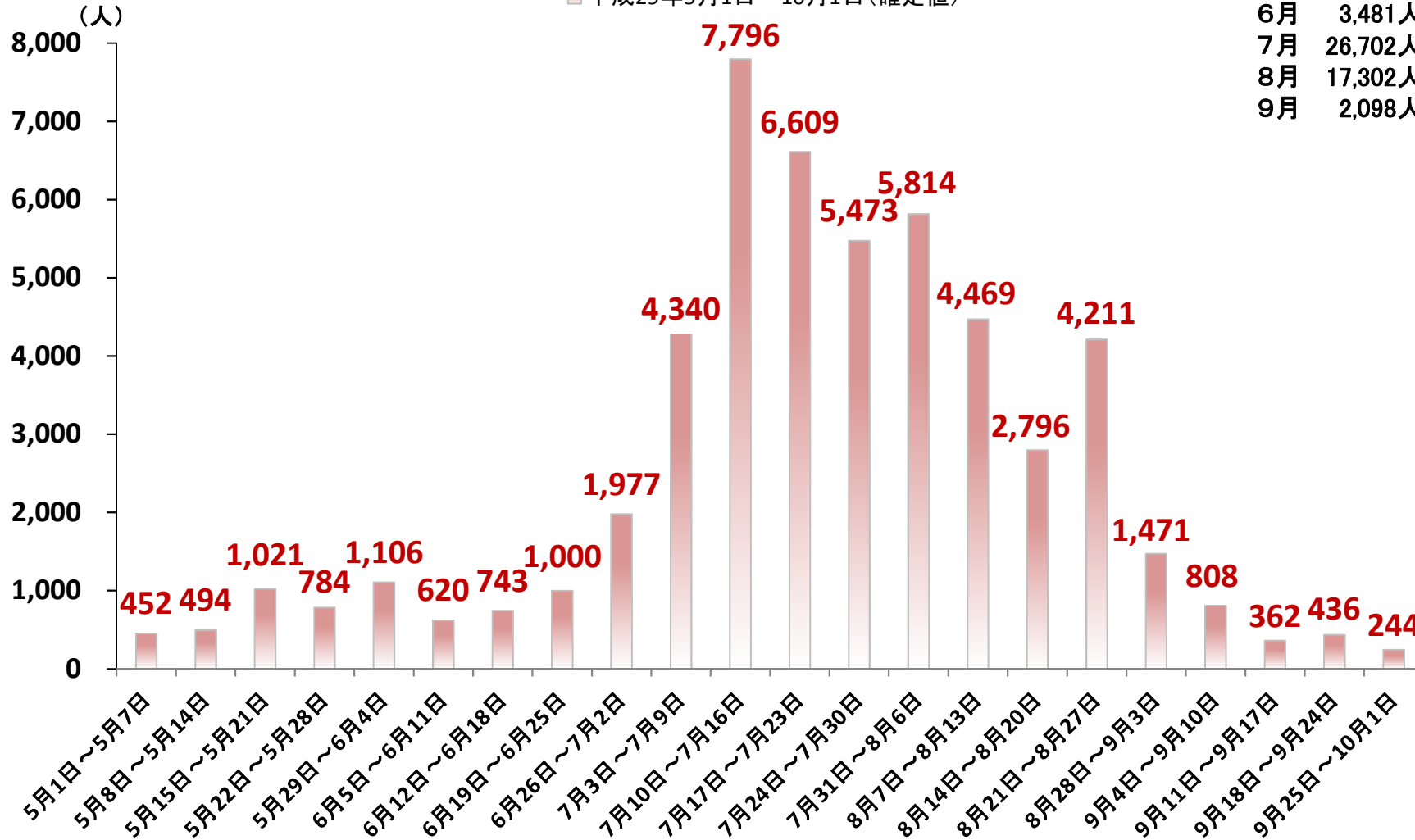
- 資料1 熱中症による救急搬送状況（平成29年）
「調査開始から各週ごとの比較」（グラフ）
- 資料2 熱中症による救急搬送状況（平成29年）
「都道府県別救急搬送人員数（昨年比）」（グラフ）
- 資料3 熱中症による救急搬送状況（平成29年）
「都道府県月別の救急搬送人員数」（グラフ）
- 資料4 熱中症による救急搬送状況（平成25年～29年）
「年齢区分別（構成比）、初診時における傷病程度別（構成比）、発生場所ごとの項目別（構成比）（年別推移）」（グラフ）
- 資料5 熱中症による救急搬送状況（平成29年）
「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数（昨年比）」（グラフ）
- 資料6-1 熱中症による救急搬送状況（平成29年）
「都道府県別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」（表）
- 資料6-2 熱中症による救急搬送状況（平成29年）
「都道府県別の発生場所ごとの項目別救急搬送人員数」（表）
- 資料7-1 熱中症による救急搬送状況（平成25年～29年）
「都道府県別月別の救急搬送人員数（年別推移）」①（5月～7月）（表）
- 資料7-2 熱中症による救急搬送状況（平成25年～29年）
「都道府県別月別の救急搬送人員数（年別推移）」②（表）
- 資料8 熱中症による救急搬送状況（平成25年～29年）
「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数（年別推移）」（表）
- 資料9 熱中症による救急搬送状況（平成23年～29年）
「救急搬送人員数及び死亡者数（年別推移）」（グラフ・表）
- 参考資料 主な都道府県の日別の救急搬送人員数と暑さ指数（WBGT）データとの比較
（平成29年5月～9月）（グラフ）

資料1

熱中症による救急搬送状況(平成29年)
「調査開始から各週ごとの比較」

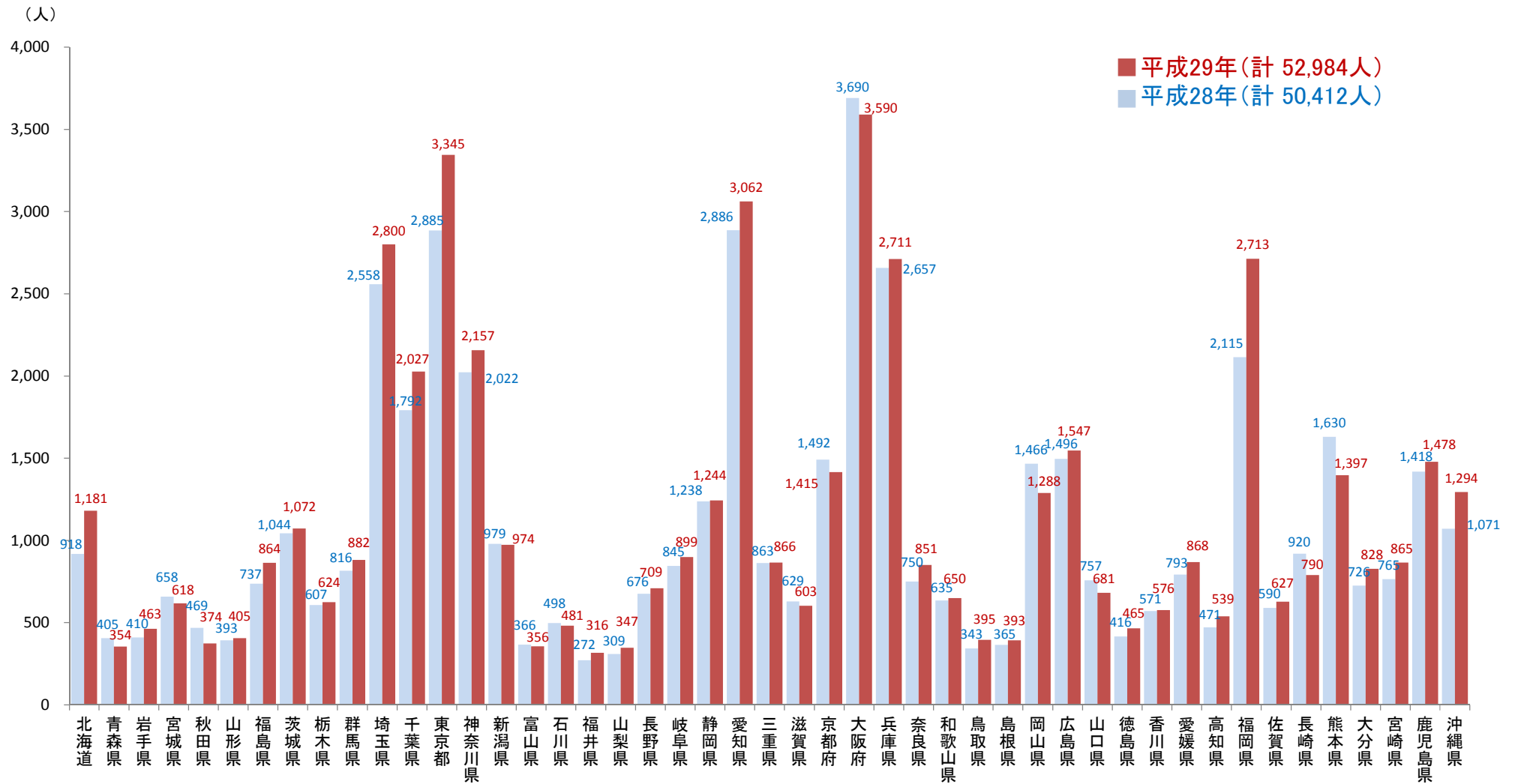
■平成29年5月1日～10月1日(確定値)

5月 3,401人
6月 3,481人
7月 26,702人
8月 17,302人
9月 2,098人



資料2

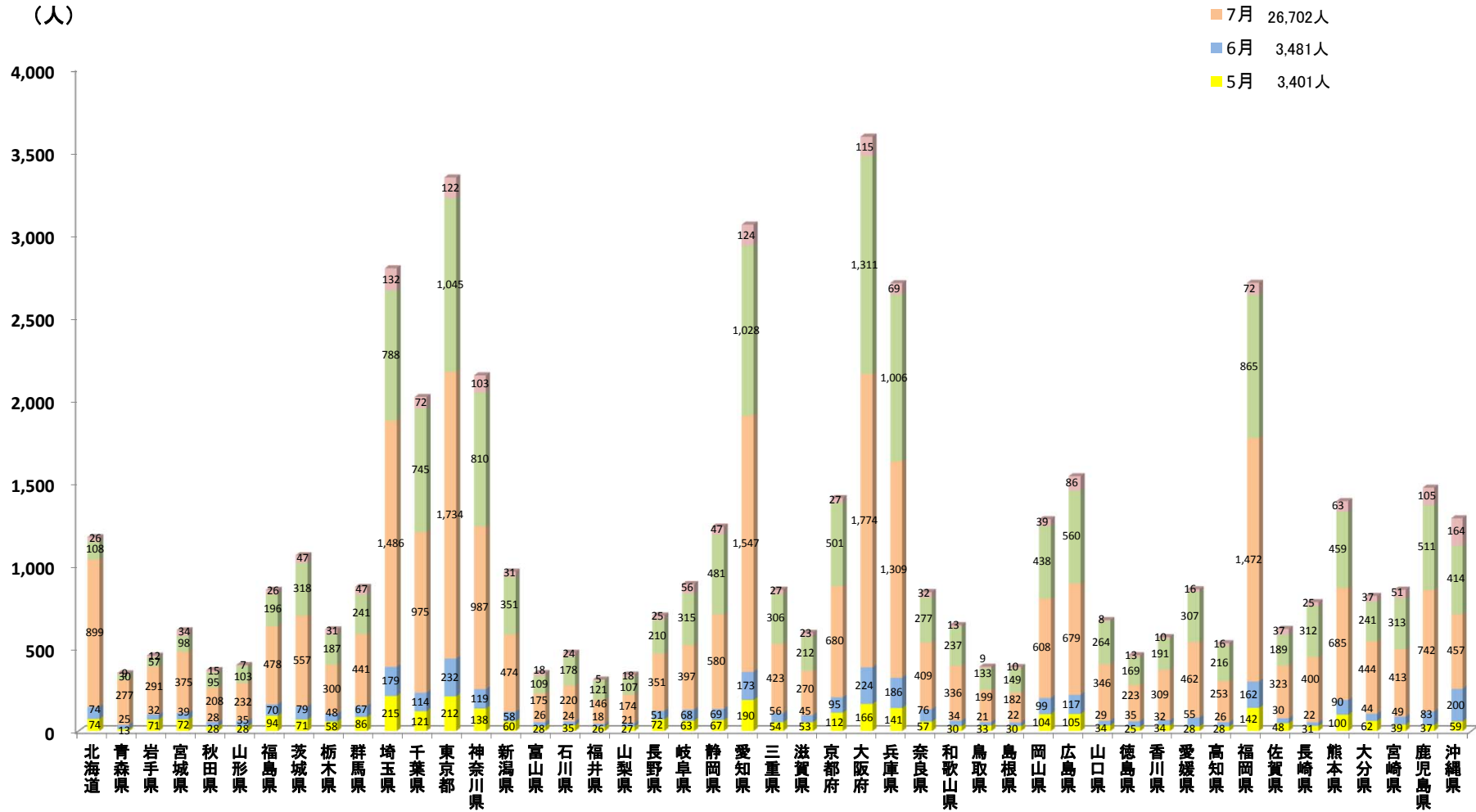
熱中症による救急搬送状況(平成29年) 「都道府県別救急搬送人員数(昨年比)」



資料3

熱中症による救急搬送状況(平成29年)
「都道府県別月別の救急搬送人員数」

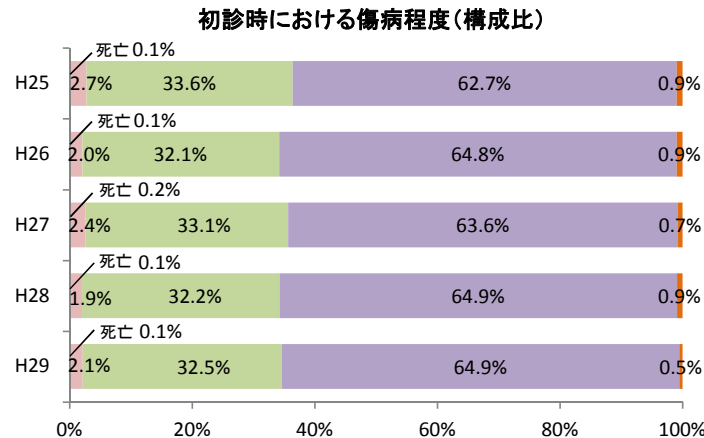
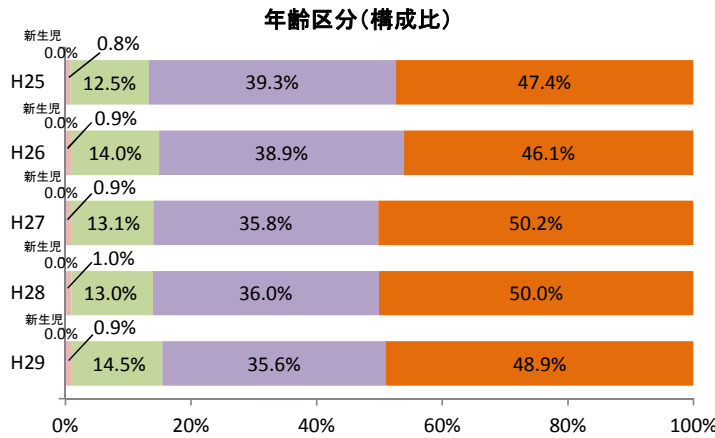
9月 2,098人
8月 17,302人
7月 26,702人
6月 3,481人
5月 3,401人



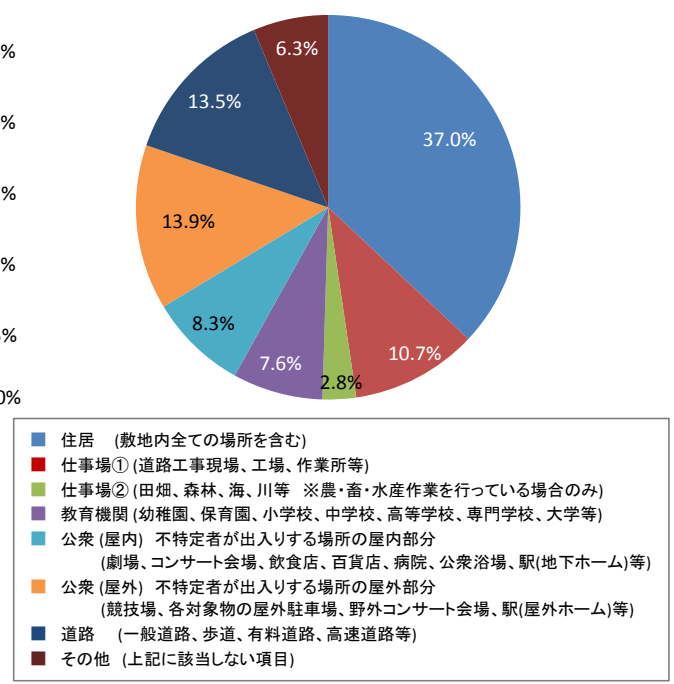
資料4

熱中症による救急搬送状況(平成25年～29年)

「年齢区分別(構成比)、初診時における傷病程度別(構成比)、発生場所ごとの項目別(構成比)(年別推移)」



発生場所ごとの項目(構成比)(平成29年)



- 新生児: 生後28日未満の者
- 乳幼児: 生後28日以上満7歳未満の者
- 少年: 満7歳以上18歳未満の者
- 成人: 満18歳以上65歳未満の者
- 高齢者: 満65歳以上の者

- 死亡 初診時において死亡が確認されたもの
 - 重症 (長期入院) 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 - 中等症 (入院診療) 傷病程度が重症または軽症以外のもの
 - 軽症 (外来診療) 傷病程度が入院加療を必要としないもの
 - その他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの
- ※なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれる。

- 住居 (敷地内全ての場所を含む)
- 仕事場① (道路工事現場、工場、作業所等)
- 仕事場② (田畑、森林、海、川等 ※農・畜・水産作業を行っている場合のみ)
- 教育機関 (幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等)
- 公衆(屋内) 不特定者が出入りする場所の屋内部分 (劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム)等)
- 公衆(屋外) 不特定者が出入りする場所の屋外部分 (競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム)等)
- 道路 (一般道路、歩道、有料道路、高速道路等)
- その他 (上記に該当しない項目)

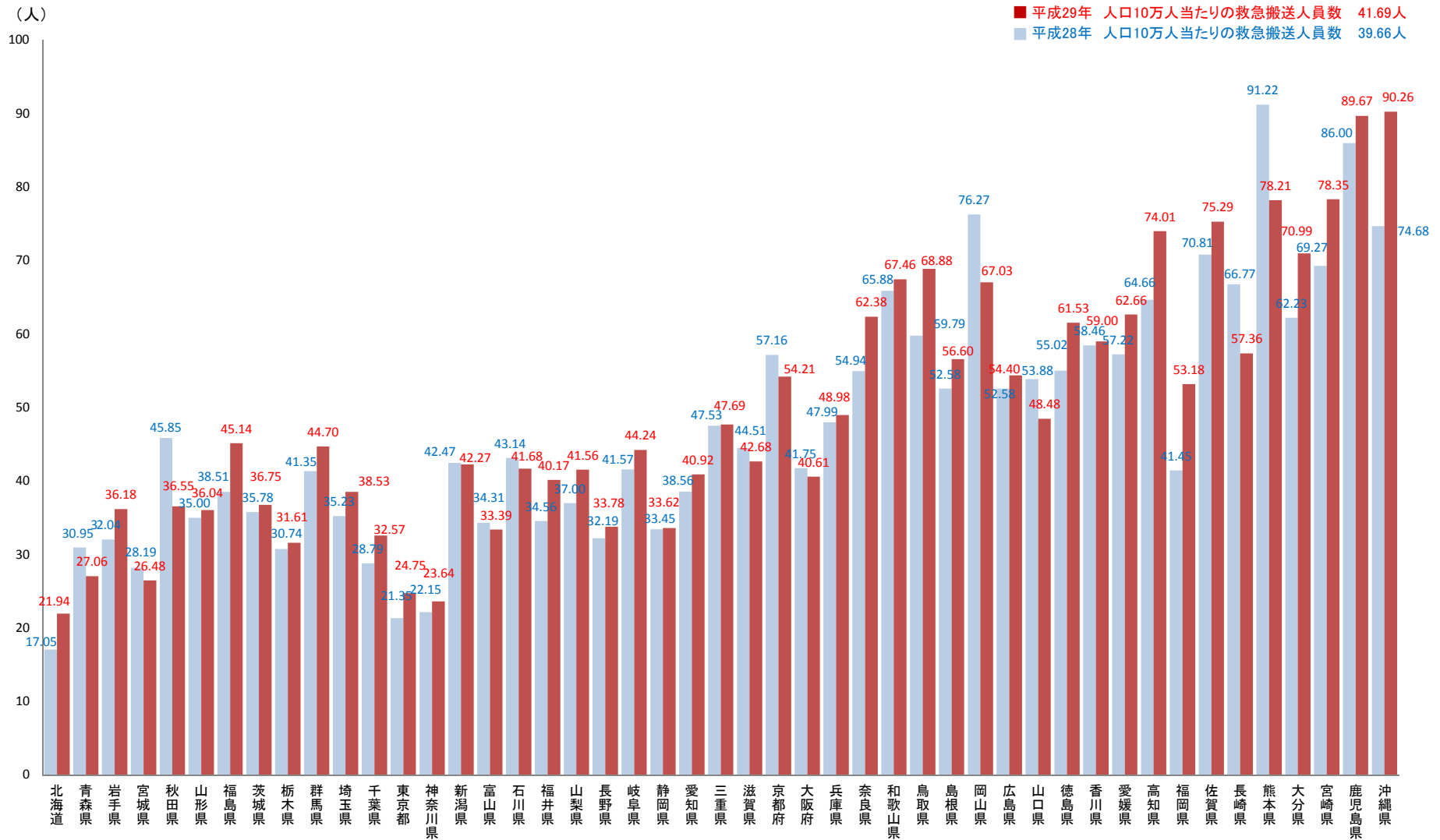
熱中症による救急搬送状況の年別推移

	年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)						発生場所(人)									
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計	
H25年	6	466	7,367	23,062	27,828	58,729	88	1,568	19,754	36,805	514	58,729										
	0.0%	0.8%	12.5%	39.3%	47.4%	100%	0.1%	2.7%	33.6%	62.7%	0.9%	100%										
H26年	4	359	5,622	15,595	18,468	40,048	55	787	12,860	25,967	379	40,048										
	0.0%	0.9%	14.0%	38.9%	46.1%	100%	0.1%	2.0%	32.1%	64.8%	0.9%	100%										
H27年	2	503	7,333	19,998	28,016	55,852	105	1,361	18,467	35,520	399	55,852										
	0.0%	0.9%	13.1%	35.8%	50.2%	100%	0.2%	2.4%	33.1%	63.6%	0.7%	100%										
H28年	4	482	6,548	18,150	25,228	50,412	59	981	16,242	32,696	434	50,412										
	0.0%	1.0%	13.0%	36.0%	50.0%	100%	0.1%	1.9%	32.2%	64.9%	0.9%	100%										
H29年	8	482	7,685	18,879	25,930	52,984	48	1,096	17,199	34,382	259	52,984	19,603	5,648	1,490	4,037	4,385	7,351	7,131	3,339	52,984	
	0.0%	0.9%	14.5%	35.6%	48.9%	100%	0.1%	2.1%	32.5%	64.9%	0.5%	100%	37.0%	10.7%	2.8%	7.6%	8.3%	13.9%	13.5%	6.3%	100%	

* 平成25年～26年は6月～9月、平成27年～29年は5月～9月の搬送人員数。

資料5

熱中症による救急搬送状況(平成29年)
「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数(昨年比)」



※平成27年国勢調査の各都道府県人口を基に算出しています。

熱中症による救急搬送状況(平成29年)
「都道府県別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」

都道府県		平成29年5月1日～9月30日											
		年齢区分(人)					初診時における傷病程度(人)						
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
1	北海道	0	19	164	383	615	1,181	3	23	333	754	68	1,181
2	青森県	0	3	50	112	189	354	0	8	125	221	0	354
3	岩手県	0	2	119	128	214	463	0	13	183	266	1	463
4	宮城県	0	10	94	226	288	618	2	27	283	306	0	618
5	秋田県	0	4	51	115	204	374	0	11	113	248	2	374
6	山形県	0	3	70	116	216	405	2	17	120	266	0	405
7	福島県	0	5	122	268	469	864	0	9	259	596	0	864
8	茨城県	0	18	164	417	473	1,072	1	29	405	637	0	1,072
9	栃木県	0	5	84	242	293	624	0	14	246	364	0	624
10	群馬県	1	13	184	287	397	882	1	25	338	516	2	882
11	埼玉県	0	33	409	1,034	1,324	2,800	2	68	869	1,861	0	2,800
12	千葉県	0	17	291	785	934	2,027	0	38	823	1,166	0	2,027
13	東京都	1	32	355	1,349	1,608	3,345	0	88	1,217	2,040	0	3,345
14	神奈川県	0	22	323	888	924	2,157	0	70	849	1,236	2	2,157
15	新潟県	0	9	131	338	496	974	3	39	266	666	0	974
16	富山県	0	7	43	91	215	356	0	15	112	229	0	356
17	石川県	0	5	80	166	230	481	0	11	110	360	0	481
18	福井県	0	4	46	106	160	316	1	9	120	185	1	316
19	山梨県	0	3	61	108	175	347	1	14	118	214	0	347
20	長野県	2	2	95	220	390	709	0	14	283	411	1	709
21	岐阜県	1	7	163	300	428	899	0	13	373	513	0	899
22	静岡県	0	15	178	473	578	1,244	3	27	327	887	0	1,244
23	愛知県	0	32	486	1,163	1,381	3,062	1	42	659	2,358	2	3,062
24	三重県	0	9	95	312	450	866	1	6	151	618	90	866
25	滋賀県	0	5	131	202	265	603	1	4	103	494	1	603
26	京都府	0	15	171	471	758	1,415	1	12	285	1,117	0	1,415
27	大阪府	0	23	548	1,332	1,687	3,590	1	14	824	2,751	0	3,590
28	兵庫県	0	31	378	865	1,437	2,711	2	31	761	1,917	0	2,711
29	奈良県	0	8	181	272	390	851	2	14	233	602	0	851
30	和歌山県	0	7	100	239	304	650	1	8	131	509	1	650
31	鳥取県	0	4	61	90	240	395	0	10	196	189	0	395
32	島根県	0	2	48	118	225	393	0	7	181	203	2	393
33	岡山県	0	10	131	458	689	1,288	3	23	369	887	6	1,288
34	広島県	0	8	149	544	846	1,547	1	39	609	897	1	1,547
35	山口県	0	3	87	234	357	681	2	17	196	465	1	681
36	徳島県	0	2	68	155	240	465	1	21	172	267	4	465
37	香川県	0	1	64	205	306	576	0	28	251	297	0	576
38	愛媛県	0	8	114	273	473	868	0	16	211	641	0	868
39	高知県	0	1	69	176	293	539	0	24	139	374	2	539
40	福岡県	0	22	434	987	1,270	2,713	1	30	1,236	1,408	38	2,713
41	佐賀県	1	5	136	220	265	627	2	8	195	393	29	627
42	長崎県	0	5	92	253	440	790	1	21	312	456	0	790
43	熊本県	0	10	212	466	709	1,397	4	22	556	814	1	1,397
44	大分県	0	4	80	274	470	828	1	30	386	411	0	828
45	宮崎県	0	11	127	307	420	865	0	16	273	576	0	865
46	鹿児島県	1	5	225	514	733	1,478	2	24	608	844	0	1,478
47	沖縄県	1	13	221	597	462	1,294	1	47	290	952	4	1,294
合計【人】		8	482	7,685	18,879	25,930	52,984	48	1,096	17,199	34,382	259	52,984
割合		0.0%	0.9%	14.5%	35.6%	48.9%	100.0%	0.1%	2.1%	32.5%	64.9%	0.5%	100.0%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

熱中症による救急搬送状況(平成29年)
「都道府県別の発生場所ごとの項目別救急搬送人員数」

都道府県		平成29年5月1日～9月30日								
		発生場所ごとの項目(人)								
		住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計
1	北海道	477	75	47	123	90	160	126	83	1,181
2	青森県	148	32	13	24	24	65	35	13	354
3	岩手県	174	37	17	19	30	108	47	31	463
4	宮城県	243	65	20	69	32	77	75	37	618
5	秋田県	152	33	30	30	18	53	38	20	374
6	山形県	154	31	24	28	37	50	56	25	405
7	福島県	366	80	27	52	48	133	86	72	864
8	茨城県	392	132	30	78	86	166	115	73	1,072
9	栃木県	263	82	26	41	46	80	62	24	624
10	群馬県	301	107	26	81	83	134	97	53	882
11	埼玉県	1,071	296	33	230	253	328	466	123	2,800
12	千葉県	744	246	54	130	145	305	266	137	2,027
13	東京都	1,235	244	57	370	416	540	453	30	3,345
14	神奈川県	759	291	27	189	193	260	325	113	2,157
15	新潟県	381	118	28	48	44	143	127	85	974
16	富山県	106	37	10	13	40	58	56	36	356
17	石川県	147	49	29	43	39	98	37	39	481
18	福井県	91	31	18	19	21	67	38	31	316
19	山梨県	115	29	9	16	39	86	30	23	347
20	長野県	311	66	24	42	43	97	69	57	709
21	岐阜県	275	116	20	51	61	180	113	83	899
22	静岡県	404	169	39	81	95	231	146	79	1,244
23	愛知県	986	470	57	306	245	388	481	129	3,062
24	三重県	314	82	25	35	53	148	122	87	866
25	滋賀県	220	63	15	51	50	109	60	35	603
26	京都府	509	115	18	110	175	134	285	69	1,415
27	大阪府	1,224	380	20	281	330	367	798	190	3,590
28	兵庫県	1,061	225	43	177	224	363	454	164	2,711
29	奈良県	333	70	33	91	50	128	106	40	851
30	和歌山県	243	74	35	41	34	81	69	73	650
31	鳥取県	148	24	24	31	25	70	34	39	395
32	島根県	160	35	17	30	29	47	35	40	393
33	岡山県	516	144	31	59	109	140	177	112	1,288
34	広島県	649	122	26	85	149	169	174	173	1,547
35	山口県	250	98	13	38	49	90	98	45	681
36	徳島県	185	40	18	31	42	66	45	38	465
37	香川県	206	76	19	29	51	72	83	40	576
38	愛媛県	309	87	35	42	103	153	99	40	868
39	高知県	211	37	40	29	24	62	72	64	539
40	福岡県	995	326	65	251	224	306	385	161	2,713
41	佐賀県	203	84	45	84	40	84	54	33	627
42	長崎県	308	77	44	31	63	131	80	56	790
43	熊本県	547	176	65	118	92	155	151	93	1,397
44	大分県	357	65	28	34	78	128	75	63	828
45	宮崎県	340	98	49	47	55	123	79	74	865
46	鹿児島県	585	151	70	102	99	210	119	142	1,478
47	沖縄県	435	163	47	127	109	208	133	72	1,294
合計【人】		19,603	5,648	1,490	4,037	4,385	7,351	7,131	3,339	52,984
割合		37.0%	10.7%	2.8%	7.6%	8.3%	13.9%	13.5%	6.3%	100.0%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

熱中症による救急搬送状況(平成25年～29年)
「都道府県別月別の救急搬送人員数(年別推移)」①(5月～7月)

都道府県													
	5月			6月			7月						
	平成27年	平成28年	平成29年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
1 北海道	26	102	74	123	212	63	71	74	430	289	429	210	899
2 青森県	13	35	13	23	35	23	15	25	83	106	159	120	277
3 岩手県	37	32	71	48	40	27	28	32	62	125	246	103	291
4 宮城県	66	44	72	44	76	35	46	39	171	265	524	167	375
5 秋田県	34	24	28	72	59	30	30	28	85	99	186	117	208
6 山形県	48	32	28	59	50	46	47	35	54	141	217	95	232
7 福島県	75	57	94	84	103	66	58	70	250	384	591	219	478
8 茨城県	56	45	71	53	97	57	81	79	532	531	717	360	557
9 栃木県	64	41	58	36	55	40	59	48	329	333	538	229	300
10 群馬県	47	55	86	60	80	57	55	67	468	409	678	297	441
11 埼玉県	170	149	215	195	270	191	206	179	1,523	1,217	2,016	964	1,486
12 千葉県	109	80	121	112	178	112	159	114	1,349	901	1,235	631	975
13 東京都	176	153	212	169	307	178	207	232	2,024	1,263	2,293	1,099	1,734
14 神奈川県	116	101	138	125	179	109	160	119	1,473	889	1,399	709	987
15 新潟県	70	61	60	128	124	79	81	58	231	349	525	264	474
16 富山県	18	28	28	25	35	17	34	26	105	112	174	114	175
17 石川県	21	45	35	34	46	46	42	24	144	155	228	166	220
18 福井県	21	18	26	22	40	19	8	18	116	117	148	83	146
19 山梨県	32	24	27	22	33	25	16	21	173	163	227	134	174
20 長野県	61	50	72	58	103	44	58	51	280	295	400	242	351
21 岐阜県	59	34	63	104	94	60	62	68	457	333	392	305	397
22 静岡県	76	49	67	75	136	54	92	69	690	473	646	449	580
23 愛知県	200	145	190	254	323	162	169	173	1,992	1,186	1,524	1,104	1,547
24 三重県	52	40	54	95	85	49	50	56	513	312	379	369	423
25 滋賀県	30	41	53	58	67	39	30	45	298	265	251	253	270
26 京都府	105	105	112	164	145	80	114	95	679	564	566	532	680
27 大阪府	141	155	166	362	289	173	209	224	1,453	1,190	1,422	1,516	1,774
28 兵庫県	116	77	141	230	216	116	153	186	998	879	900	1,089	1,309
29 奈良県	47	40	57	81	75	48	36	76	285	239	227	307	409
30 和歌山県	31	31	30	62	65	34	38	34	290	231	276	248	336
31 鳥取県	15	15	33	21	23	20	24	21	119	96	129	156	199
32 島根県	24	28	30	30	30	26	27	22	129	147	151	147	182
33 岡山県	89	85	104	174	113	86	95	99	435	381	506	588	608
34 広島県	84	87	105	168	112	84	84	117	552	356	436	552	679
35 山口県	19	34	34	45	39	24	39	29	321	197	210	293	346
36 徳島県	32	23	25	46	23	29	26	35	186	140	162	173	223
37 香川県	31	26	34	49	45	29	36	32	251	205	245	255	309
38 愛媛県	28	28	28	34	57	55	45	55	367	269	276	350	462
39 高知県	30	20	28	42	30	24	36	26	219	155	175	180	253
40 福岡県	123	98	142	131	101	86	109	162	1,193	742	774	864	1,472
41 佐賀県	40	38	48	41	31	34	35	30	204	126	207	260	323
42 長崎県	22	48	31	38	32	26	42	22	325	187	192	349	400
43 熊本県	73	89	100	87	77	54	101	90	451	385	503	610	685
44 大分県	32	42	62	46	49	27	35	44	359	227	221	305	444
45 宮崎県	33	39	39	72	27	33	50	49	315	254	234	283	413
46 鹿児島県	31	56	37	81	44	54	111	83	479	388	396	498	742
47 沖縄県	81	139	59	183	184	262	249	200	257	337	237	313	457
合計	2,904	2,788	3,401	4,265	4,634	3,032	3,558	3,481	23,699	18,407	24,567	18,671	26,702

熱中症による救急搬送状況(平成25年～29年)
「都道府県別月別の救急搬送人員数(年別推移)」②(8月～9月)

都道府県		熱中症による救急搬送状況(平成25年～29年)									
		8月					9月				
		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
1	北海道	308	276	367	485	108	22	18	23	50	26
2	青森県	159	124	140	221	30	13	15	3	14	9
3	岩手県	164	174	184	212	57	19	12	9	35	12
4	宮城県	474	477	451	341	98	36	19	26	60	34
5	秋田県	146	103	147	250	95	23	5	2	48	15
6	山形県	172	167	142	177	103	24	8	8	42	7
7	福島県	472	472	451	332	196	49	14	23	71	26
8	茨城県	759	630	679	460	318	91	35	52	98	47
9	栃木県	456	383	359	215	187	39	23	19	63	31
10	群馬県	471	445	401	335	241	41	14	25	74	47
11	埼玉県	1,617	1,364	1,414	1,024	788	207	57	93	215	132
12	千葉県	1,498	893	1,003	737	745	197	60	65	185	72
13	東京都	2,087	1,613	1,904	1,173	1,045	255	79	83	253	122
14	神奈川県	1,522	897	1,132	857	810	205	73	68	195	103
15	新潟県	515	473	382	464	351	102	27	7	109	31
16	富山県	176	148	119	154	109	11	18	4	36	18
17	石川県	169	179	178	210	178	31	13	6	35	24
18	福井県	161	92	145	133	121	26	3	8	30	5
19	山梨県	159	110	151	108	107	23	12	17	27	18
20	長野県	301	179	294	263	210	34	10	19	63	25
21	岐阜県	450	168	494	331	315	53	42	22	113	56
22	静岡県	864	322	701	540	481	88	68	51	108	47
23	愛知県	1,703	778	1,730	1,267	1,028	141	115	86	201	124
24	三重県	552	187	447	337	306	47	28	19	67	27
25	滋賀県	328	174	335	260	212	18	28	18	45	23
26	京都府	799	311	725	656	501	73	36	29	85	27
27	大阪府	2,064	844	1,894	1,509	1,311	185	148	84	301	115
28	兵庫県	1,282	487	1,343	1,185	1,006	123	84	33	153	69
29	奈良県	335	149	374	303	277	56	27	10	64	32
30	和歌山県	322	131	335	274	237	34	25	23	44	13
31	鳥取県	179	54	104	133	133	18	8	9	15	9
32	島根県	139	69	131	145	149	18	13	11	18	10
33	岡山県	608	233	540	600	438	69	59	29	98	39
34	広島県	799	225	627	647	560	72	68	60	126	86
35	山口県	373	102	242	354	264	34	17	10	37	8
36	徳島県	198	87	194	171	169	10	21	10	23	13
37	香川県	344	115	271	219	191	19	26	3	35	10
38	愛媛県	367	159	324	328	307	36	21	19	42	16
39	高知県	292	121	214	208	216	21	20	15	27	16
40	福岡県	1,222	324	870	943	865	139	83	40	101	72
41	佐賀県	298	72	175	211	189	30	26	9	46	37
42	長崎県	422	109	291	435	312	39	33	27	46	25
43	熊本県	599	147	496	697	459	98	52	46	133	63
44	大分県	334	108	242	301	241	20	13	31	43	37
45	宮崎県	291	127	263	315	313	36	40	26	78	51
46	鹿児島県	420	238	358	593	511	139	86	58	160	105
47	沖縄県	262	143	162	270	414	69	122	86	100	164
合 計		27,632	15,183	23,925	21,383	17,302	3,133	1,824	1,424	4,012	2,098

資料8

熱中症による救急搬送状況(平成25年～29年)
「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数(年別推移)」

都道府県	6月1日～9月30日				5月1日～9月30日					
	平成25年熱中症搬送人員		平成26年熱中症搬送人員		平成27年熱中症搬送人員		平成28年熱中症搬送人員		平成29年熱中症搬送人員	
	(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)
1 北海道	883	16.04	795	14.64	908	16.49	918	17.05	1,181	21.94
2 青森県	278	20.24	280	20.97	338	24.61	405	30.95	354	27.06
3 岩手県	293	22.03	351	27.10	503	37.82	410	32.04	463	36.18
4 宮城県	725	30.88	837	35.95	1,102	46.93	658	28.19	618	26.48
5 秋田県	326	30.02	266	25.33	399	36.74	469	45.85	374	36.55
6 山形県	309	26.43	366	32.08	461	39.44	393	35.00	405	36.04
7 福島県	855	42.14	973	50.00	1,206	59.44	737	38.51	864	45.14
8 茨城県	1,435	48.32	1,293	44.11	1,561	52.56	1,044	35.78	1,072	36.75
9 栃木県	860	42.84	794	39.98	1,020	50.80	607	30.74	624	31.61
10 群馬県	1,040	51.79	948	47.78	1,208	60.16	816	41.35	882	44.70
11 埼玉県	3,542	49.23	2,908	40.27	3,884	53.99	2,558	35.23	2,800	38.53
12 千葉県	3,156	50.77	2,032	32.82	2,524	40.60	1,792	28.79	2,027	32.57
13 東京都	4,535	34.46	3,262	24.53	4,634	35.21	2,885	21.35	3,345	24.75
14 神奈川県	3,325	36.75	2,038	22.45	2,824	31.21	2,022	22.15	2,157	23.64
15 新潟県	976	41.10	973	41.76	1,063	44.77	979	42.47	974	42.27
16 富山県	317	29.00	313	29.09	332	30.37	366	34.31	356	33.39
17 石川県	378	32.31	393	33.91	479	40.95	498	43.14	481	41.68
18 福井県	325	40.31	252	31.70	341	42.29	272	34.56	316	40.17
19 山梨県	377	43.68	318	37.54	452	52.37	309	37.00	347	41.56
20 長野県	673	31.27	587	27.66	818	38.00	676	32.19	709	33.78
21 岐阜県	1,064	51.13	637	31.06	1,027	49.36	845	41.57	899	44.24
22 静岡県	1,717	45.60	999	26.83	1,528	40.58	1,238	33.45	1,244	33.62
23 愛知県	4,090	55.19	2,402	32.27	3,702	49.95	2,886	38.56	3,062	40.92
24 三重県	1,207	65.08	612	33.39	946	51.00	863	47.53	866	47.69
25 滋賀県	702	49.76	534	37.71	673	47.70	629	44.51	603	42.68
26 京都府	1,715	65.06	1,056	40.35	1,505	57.09	1,492	57.16	1,415	54.21
27 大阪府	4,064	45.84	2,471	27.92	3,714	41.89	3,690	41.75	3,590	40.61
28 兵庫県	2,633	47.12	1,666	29.97	2,508	44.88	2,657	47.99	2,711	48.98
29 奈良県	757	54.04	490	35.43	706	50.40	750	54.94	851	62.38
30 和歌山県	708	70.64	452	46.17	699	69.75	635	65.88	650	67.46
31 鳥取県	337	57.25	181	31.31	277	47.06	343	59.79	395	68.88
32 島根県	316	44.05	259	36.89	343	47.81	365	52.58	393	56.60
33 岡山県	1,286	66.11	786	40.73	1,250	64.26	1,466	76.27	1,288	67.03
34 広島県	1,591	55.61	761	26.80	1,291	45.13	1,496	52.58	1,547	54.40
35 山口県	773	53.26	355	25.00	505	34.80	757	53.88	681	48.48
36 徳島県	440	56.02	271	35.19	427	54.36	416	55.02	465	61.53
37 香川県	663	66.58	391	39.70	579	58.14	571	58.46	576	59.00
38 愛媛県	804	56.17	506	36.01	702	49.04	793	57.22	868	62.66
39 高知県	574	75.09	326	43.76	458	59.91	471	64.66	539	74.01
40 福岡県	2,685	52.94	1,250	24.56	1,893	37.32	2,115	41.45	2,713	53.18
41 佐賀県	573	67.43	255	30.36	465	54.72	590	70.81	627	75.29
42 長崎県	824	57.75	361	25.84	558	39.11	920	66.77	790	57.36
43 熊本県	1,235	67.95	661	36.70	1,172	64.49	1,630	91.22	1,397	78.21
44 大分県	759	63.43	397	33.70	553	46.22	726	62.23	828	70.99
45 宮崎県	714	62.89	448	40.00	589	51.88	765	69.27	865	78.35
46 鹿児島県	1,119	65.58	756	45.00	897	52.57	1,418	86.00	1,478	89.67
47 沖縄県	771	55.36	786	55.55	828	59.45	1,071	74.68	1,294	90.26
合計	58,729	45.86	40,048	31.46	55,852	43.61	50,412	39.66	52,984	41.69

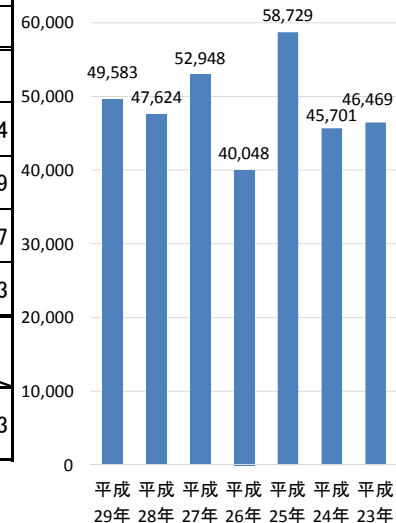
資料9

熱中症による救急搬送状況(平成23年～29年)
「救急搬送人員数及び死亡者数(年別推移)」

(単位:人)

	平成29年(2017)		平成28年(2016)		平成27年(2015)		平成26年(2014)		平成25年(2013)		平成24年(2012)		平成23年(2011)		
	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	
確定値	5月	3,401	2	2,788	1	2,904	3	調査データなし							
	6月	3,481	1	3,558	3	3,032	2	4,634	6	4,265	4	1,837	3	6,980	14
	7月	26,702	31	18,671	29	24,567	39	18,407	31	23,699	27	21,082	37	17,963	29
	8月	17,302	14	21,383	24	23,925	60	15,183	15	27,632	57	18,573	35	17,566	27
	9月	2,098	0	4,012	2	1,424	1	1,824	3	3,133	0	4,209	1	3,960	3
救急搬送人員数 (5月から9月)	52,984	48	50,412	59	55,852	105									
救急搬送人員数 (6月から9月)	49,583	46	47,624	58	52,948	102	40,048	55	58,729	88	45,701	76	46,469	73	

救急搬送人員数の年別推移
(6月～9月)



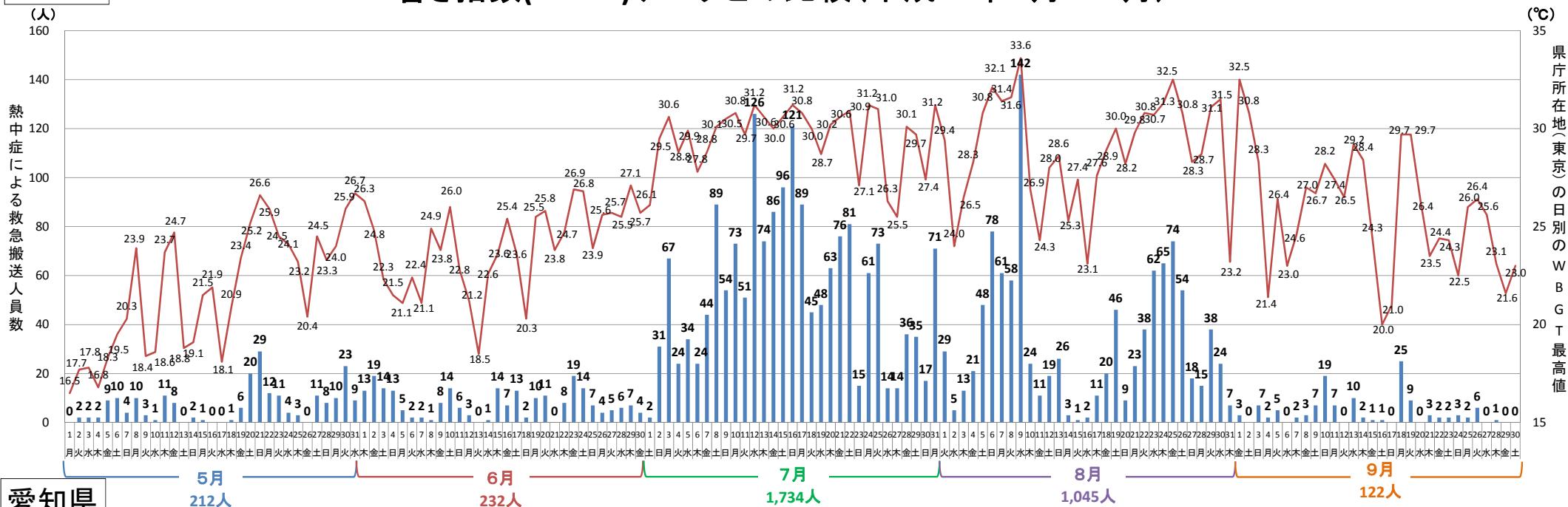
(参考) 梅雨明けの時期

	平成29年(2017)	平成28年(2016)	平成27年(2015)	平成26年(2014)	平成25年(2013)	平成24年(2012)	平成23年(2011)	(平成)
沖縄	6月22日ごろ	6月16日ごろ	6月11日ごろ	6月26日ごろ	6月11日ごろ	6月23日ごろ	6月9日ごろ	6月23日ごろ
九州	7月13日ごろ	7月18日ごろ	7月17～29日ごろ	7月16～20日ごろ	7月8日ごろ	7月23日ごろ	7月8日ごろ	7月14～19日ごろ
中国・四国	7月13日ごろ	7月18日ごろ	7月20～24日ごろ	7月20日ごろ	7月8日ごろ	7月17日ごろ	7月8日ごろ	7月18～21日ごろ
近畿・東海	7月13～15日ごろ	7月18～28日ごろ	7月20日ごろ	7月20～21日ごろ	7月7～8日ごろ	7月16～23日ごろ	7月8日ごろ	7月21日ごろ
関東甲信	7月6日ごろ	7月29日ごろ	7月19日ごろ	7月21日ごろ	7月6日ごろ	7月25日ごろ	7月9日ごろ	7月21日ごろ
北陸	8月2日ごろ	7月19日ごろ	7月21日ごろ	7月21日ごろ	8月7日ごろ	7月26日ごろ	7月8日ごろ	7月24日ごろ
東北	特定しない	7月29日ごろ	7月26～29日ごろ	7月25日ごろ	8月7～10日ごろ	7月26日ごろ	7月9日ごろ	7月25～28日ごろ

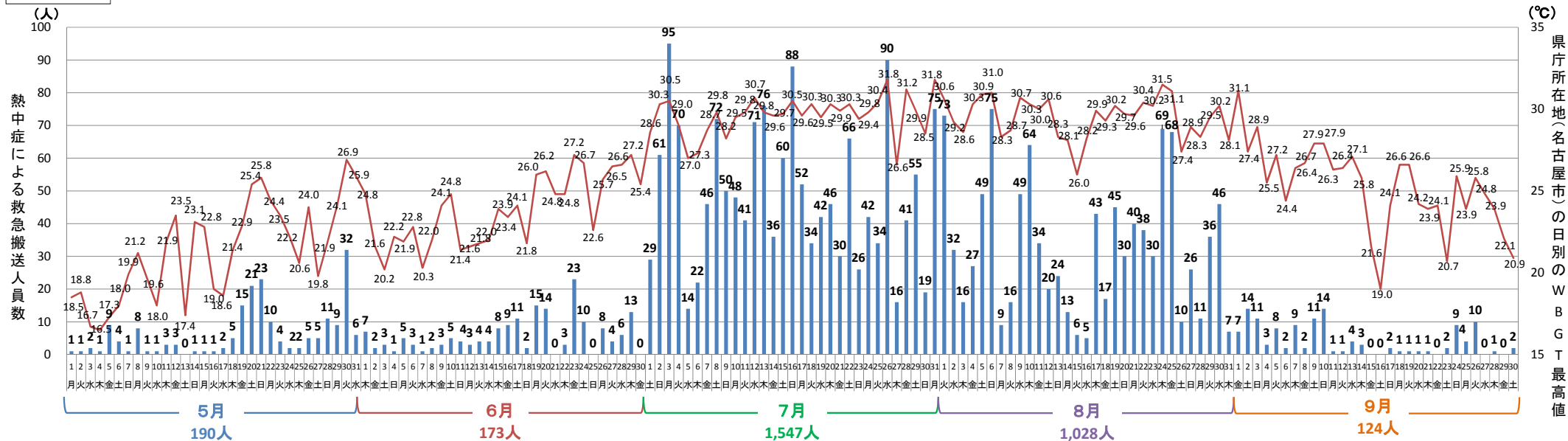
参考資料

主な都道府県の日別の救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)データとの比較(平成29年5月~9月)

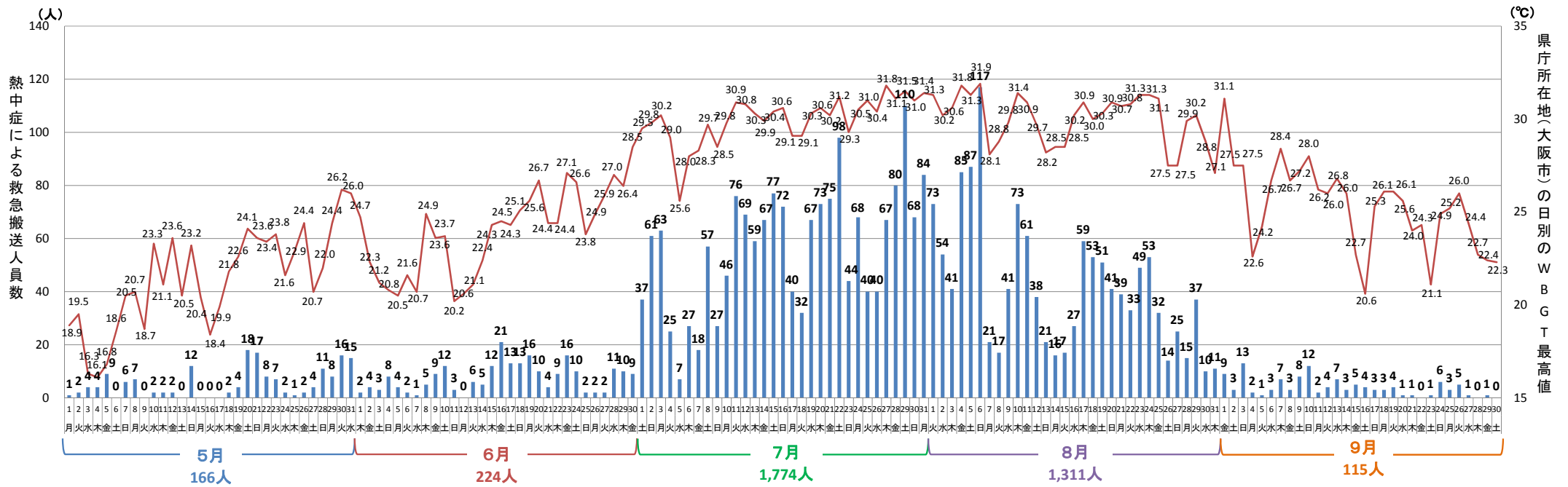
東京都



愛知県



大阪府



【参考】

- (1) 暑さ指数(WBGT(湿球黒球温度): Wet Bulb Globe Temperature)とは、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度(°C)で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数は(WBGT)は人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射など周囲の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。
- (2) 暑さ指数(WBGT)の温度基準、注意すべき生活活動の目安、注意事項(右図)環境省HPより抜粋
- (3) 環境省熱中症予防情報サイト <http://www.wbgt.env.go.jp/>

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31°C以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28~31°C※)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28°C※)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25°C未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※ (28~31°C) 及び (25~28°C) については、それぞれ28°C以上31°C未満、25°C以上28°C未満を示します。日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)より

熱中症情報

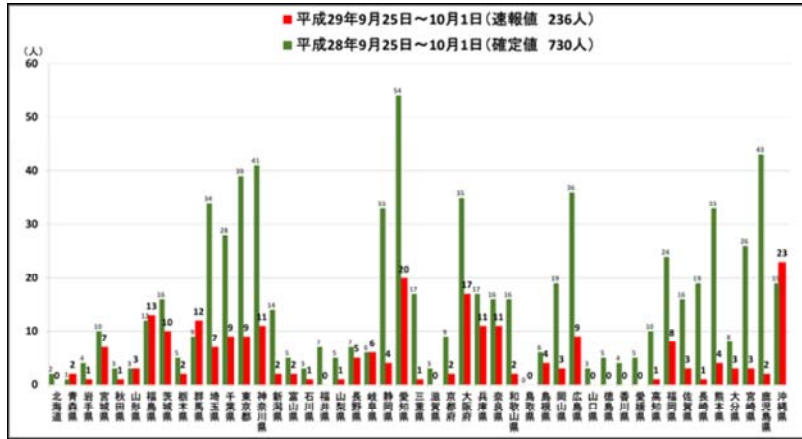


[ホーム](#) [救急救助](#) [熱中症情報](#)

救急搬送状況

平成29年の情報

9月25日～10月1日までの全国の熱中症による救急搬送人員は、236人でした。



週報(一週間ごとの熱中症による救急搬送人員数)

[熱中症による救急搬送人員数\(9月25日～10月1日速報値\)](#) **NEW**

[熱中症による救急搬送人員数\(9月18日～9月24日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(9月11日～9月17日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(9月4日～9月10日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(8月28日～8月31日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(8月21日～8月27日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(8月14日～8月20日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(8月7日～8月13日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(7月31日～8月6日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(7月24日～7月30日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(7月17日～7月23日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(7月10日～7月16日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(7月3日～7月9日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(6月26日～7月2日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(6月19日～6月25日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(6月12日～6月18日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(6月5日～6月11日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(5月29日～6月4日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(5月22日～5月28日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(5月15日～5月21日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(5月8日～5月14日\)](#)

[熱中症による救急搬送人員数\(5月1日～5月7日\)](#)

月報(一か月ごとの熱中症による救急搬送状況)

[平成29年\(5月から9月\)の熱中症による救急搬送状況](#) **NEW**

[平成29年9月の熱中症による搬送状況](#) **NEW**

救急救助

[緊急消防援助隊](#)

[救急、救助、国際協力に係る通知等](#)

カテゴリから探す

- [消防防災](#)
- [救急救助](#)
- [火災予防](#)
- [国民保護](#)
- [東日本大震災関連情報](#)
- [採用情報](#)
- [その他](#)

消防団
FIRE VOLUNTEER
ホームページ

女性消防吏員
Female Firefighter
◆ポータルサイト
◆消防庁施策の紹介

救急の日 2017
ショートムービーコンテスト
8月17日まで!

住宅防火関係
住宅用火災警報器
を設置しましょう!

**消防関係製品に関する
消費者事故等について**
不具合・事故等/悪質訪問・
詐欺等/リコール情報

迅速・正確な情報が生命を救う。
防災行政無線

石油コンビナート等
災害防止3省共同サイト

消防大学校
消防研究センター

[平成29年8月の熱中症による搬送状況](#)

[平成29年7月の熱中症による搬送状況](#)

[平成29年6月の熱中症による搬送状況](#)

[平成29年5月の熱中症による搬送状況](#)

平成28年以前の情報

[過去の全国における熱中症傷病者救急搬送に関わる報道発表一覧](#)

熱中症による救急搬送人員数に関するデータ

消防庁では、消防機関、医療機関及び都道府県の協力により、平成20年から熱中症による救急搬送人員数の調査を実施しています。下記に、各年の月別データを公表していますので、熱中症予防の普及啓発に資するべく、より詳細な分析を行う場合にデータをご利用ください。

【提供データ】

○調査期間：平成20、21年7～9月、平成22～26年6～9月、平成27～29年5～9月

○提供内容 ・都道府県別日別の搬送人員数

- ・ " 年齢区分別搬送人員数
- ・ " 初診時における傷病程度別搬送人員数
- ・ " 発生場所ごとの項目別搬送人員数(平成29年5～9月)

・平成20年7～9月 [ダウンロード](#)

・平成25年6～9月 [ダウンロード](#)

・平成21年7～9月 [ダウンロード](#)

・平成26年6～9月 [ダウンロード](#)

・平成22年6～9月 [ダウンロード](#)

・平成27年5～9月 [ダウンロード](#)

・平成23年6～9月 [ダウンロード](#)

・平成28年5～9月 [ダウンロード](#)

・平成24年6～9月 [ダウンロード](#)

・平成29年5～9月 [ダウンロード](#)

コード表 [ダウンロード](#)

【留意事項】

○分析したデータを公表する場合には、公表内容及びその概要(日本語にて400字程度、図表も可)を消防庁救急企画室救急連携係まで、事前に情報提供いただきますようお願いいたします。

(メールアドレス: kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp)

○公表する際には、出典についても明記いただけるようお願いいたします。

予防啓発

予防啓発コンテンツ

熱中症予防啓発ポスター **NEW!!**

熱中症の予防法や対処法、ためらわずに救急車を呼ぶ場合のポイントをまとめた熱中症予防啓発ポスターを作成しましたので、各団体でダウンロードして御活用ください。

ポスター下段に各団体名を記載する空白欄を作成しましたので、御活用ください。



[ダウンロード](#)

予防啓発ビデオ

熱中症予防のポイント等を説明した動画を2種類(5分と15秒)作成しました。5分動画は、応急手当の講習や企業の研修等、15秒の動画はスポットCMやSNS等で御活用ください。また、住民の方にも広く見ていただけるよう各自自治体のHPや広報紙等に掲載してご案内ください。

関連Webサイト



eカレッジ

一般の方から、地方公務員の方まで防災について学習できます。

twitter

消防庁のTwitter

[Twitter ガイドライン](#)

5分



- ▶ 視聴
- ▶ ダウンロード

15秒



- ▶ 視聴
- ▶ ダウンロード

予防啓発イラスト

全国消防イメージキャラクターの「消太」を活用して熱中症予防を呼びかけるイラストを30点作成しました。各自治体が作成する予防啓発資料やSNS等で御活用ください。
 使用する際は、「全国消防イメージキャラクター「消太」活用マニュアル」にご留意ください。
http://www.fdma.go.jp/concern/svota_guideline/pdf/svota_manual.pdf

イラスト例



その他のイラストは下記のリンクに掲載しています。
 URL: http://www.fdma.go.jp/concern/svota_guideline/

予防広報メッセージ

暑い日や時間帯に効果的な広報ができるよう熱中症予防の広報メッセージのデータを20例作成しました。高温注意情報が発表された日や気温が30℃以上となっている時間帯、屋外イベントが開催されている地域など、消防車、救急車、消防団車両等で、巡回するときに御活用ください。

メッセージ例

メッセージ内容	日本語	英語	中国語	韓国語
こちらは消防署です。7月は熱中症予防強化月間です。熱中症の予防には、「水分補給」が大切です！喉の乾きを感じる前に、こまめな水分補給を行いましょ！特に、高齢者の方は、暑さを感じにくく、室内でも熱中症になることもあるので十分注意しましょ！	[通常] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード	[通常] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード	[通常] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード	[通常] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード
	[冒頭なしVer] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード	[冒頭なしVer] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード	[冒頭なしVer] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード	[冒頭なしVer] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード

※冒頭なしVerとは、全てのメッセージの冒頭についている「こちらは消防署です。」の一文がないものです。消防署以外の方でも利用できる様に作成しました。

※その他のメッセージについては、下記のリンクに掲載してあります。
http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2_2.html

熱中症対策リーフレット(PDF4ページ)

熱中症は、正しい知識を身につけ、適切に予防することが重要です。各自治体において印刷していただき、各種イベント、自主防災訓練及び応急手当講習等で積極的に住民へ配布してください。

※なお、紙面の最後に空白を作っておりますので、自治体名を入れてご活用ください。



ダウンロードはこちら

(内容)

- (1)リーフレットの全体像(おもて表紙)
- (2)熱中症とは？、熱中症の分類と対処方法、救急車を呼ぶタイミング、熱中症予防のポイント(見開き左)
- (3)子供と高齢者の特徴、熱中症の応急手当(見開き右)
- (4)過去の熱中症による救急搬送の状況(うら表紙)

訪日外国人のための救急車利用ガイド(PDF6ページ)

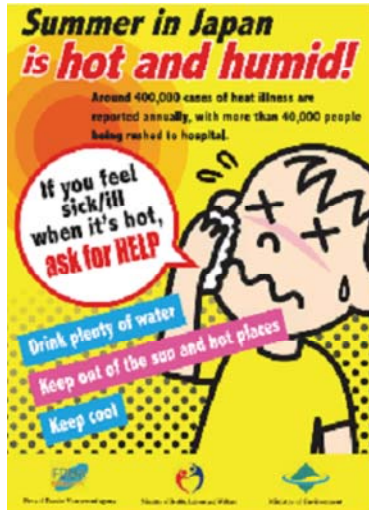
訪日外国人が近年増加傾向にある中で、急な病気やけがをしたときに、訪日外国人に必要な情報を掲載した救急車利用ガイドを7言語で作成しました。また、その中で2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて、熱中症予防対策についても記載しています。訪日外国人観光客に配布するなど積極的にご活用ください。



[ダウンロードはこちら](#)

Summer in Japan【外国人のための熱中症予防普及啓発用リーフレット】

外国人のための熱中症予防普及啓発用リーフレットを、関係省庁で作成しました。熱中症の予防対策や、救急車を要請する時の番号、および医療機関を受診するときの必需品等ポイントを掲載しています。ぜひ御活用ください。



[ダウンロードはこちら](#)

熱中症予防啓発取組事例集

消防庁で作成した熱中症予防啓発のためのコンテンツ(動画、イラスト、広報メッセージ)を活用した事例のほか、県や消防本部が独自で行っている取り組みの事例集を作成しました。本事例集を参考にいただき、地域の関係機関との連携により、積極的に熱中症の予防啓発の取り組みを行ってください。



[ダウンロードはこちら](#)

取組事例の一例

静岡県(消防保安課)
SNS(TwitterやFacebook)
に動画貼り付け



知多市消防本部(愛知県)
救急出動の帰路にマイクで広報



詳しくは事例集を御確認ください

関係省庁リンク



[熱中症環境保健マニュアルー2014年3月改訂版ー\(環境省\)](#)

[熱中症に注意\(気象庁\)](#)

[熱中症を防ぐために\(厚生労働省\)](#)

[職場における熱中症予防対策マニュアル\(厚生労働省\)](#)

[環境展望台\(国立研究開発法人国立環境研究所\)](#)

総務省消防庁

〒100-8927 東京都千代田区霞が関2-1-2 電話番号 03-5253-5111(代表)

[▲ページの先頭へ](#)

[サイトマップ](#) | [個人情報の取扱について](#) | [リンク・著作権等について](#)

Copyright© Fire and Disaster Management Agency. All Rights Reserved.

事務連絡
平成 29 年 7 月 26 日

各都道府県消防防災主管部（局） }
東京消防庁・各指定都市消防本部 } 御中

消防庁救急企画室

熱中症予防啓発ポスターの配布について(依頼)

平素より、救急行政の推進について御尽力いただき御礼申し上げます。

消防庁では熱中症予防の普及啓発活動を推進しており、消防庁 HP に予防啓発ビデオ、予防啓発イラスト、予防広報メッセージ、熱中症対策リーフレットなどのコンテンツを掲載するとともに、都道府県や消防本部による熱中症予防啓発の取組事例集によって紹介しているところです。

今般、住民に対し熱中症の予防啓発を広くおこなうため、熱中症予防啓発ポスターを作成しました。

つきましては、上記の取組事例集も参考にしながら、下記事項に御留意の上、貴部（局）において積極的に広報していただくとともに、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して配布の上、幅広い広報を依頼していただきますようよろしく申し上げます。

記

1. 配布枚数の考え方

管轄人口に応じた枚数を各都道府県に配布します。

2. 配布先

都道府県や消防本部及び交通機関・医療機関・公共施設等に掲示・配布していただくことを想定しています。

ポスターの下段に各団体名を入れる空白欄を作成しましたので、御活用ください。

3. その他

消防庁 HP に PDF 版を掲載していますので、増刷し御活用ください。

URL: https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

<p>【連絡先】 消防庁 救急企画室 森川専門官 小川係長 中西事務官 TEL : 03-5253-7529 FAX : 03-5253-7532 E-mail : kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp</p>
--

事 務 連 絡
平成 29 年 7 月 11 日

〔福岡県〕
〔大分県〕

消防防災主管部（局） 御中

消防庁救急企画室

被災住民等の熱中症対策について（周知）

これから本格的な夏に向けて、気温が上昇していく中、被災地の気象条件、生活環境等によっては被災住民やボランティア等の方々が熱中症にかかるリスクの上昇が懸念されます。

つきましては、被災住民やボランティア等の方々に対して、熱中症に対する注意喚起と予防方法について積極的に情報提供を行う必要があることから、別添の環境省及び厚生労働省の連名による事務連絡（平成 29 年 7 月 10 日付け）を参考に、貴都道府県内の消防本部及び消防団事務を処理する市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して協力を行うよう速やかに周知願います。

【お問い合わせ先】

消防庁救急企画室

森川救急専門官、小川係長、中西事務官

TEL 03-5253-7529（直通）

平成 29 年 7 月 10 日

福岡県
大分県

熱中症予防対策担当部局 御中

環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課
環境省水・大気環境局大気環境課大気生活環境室
厚生労働省健康局健康課

被災住民等の熱中症対策について（周知依頼）

今般の大雨によって被災された皆さまに対し、心からお見舞い申し上げます。

本格的な夏を迎えるにあたり、気温が上昇している中、気象条件や作業内容、生活環境等によっては被災住民、ボランティア等の方々が熱中症にかかるリスクが高くなると見込まれます。このことから、下記の内容について適宜周知いただきたくお願いいたします。

記

●熱中症対策について

【注意事項】

- (1) こまめに水分を取りましょう。
- (2) 気温が急に上昇した日、家財道具等の片付け作業を行う時、車の中等は特に注意しましょう。

【作業時の注意事項】

- (1) 体調が悪い日は作業を行わないようにしましょう。
- (2) 日陰を確保して一定時間ごとに必ず休憩を取りましょう。
- (3) できるだけ2人以上でお互いの体調を確認しながら作業を行いましょう。

また、下記のウェブサイトで熱中症のかかりやすさを示す「暑さ指数 (WBGT)」を公表しています。これらの情報を随時確認し、熱中症にかからないようにしましょう。

「環境省 熱中症予防情報サイト」(<http://www.wbgt.env.go.jp/>) 検 索 | 環 境 省 熱 中 症

以上

《本件照会先》

	熱中症対策全般		暑さ指数 (WBGT) の公表
担当課室	環境省 総合環境政策局 環境保健部環境安全課	厚生労働省 健康局 健康課地域保健室	環境省 水・大気環境局 大気環境課大気生活環境室
担当者名	立石、猪岡、數見	知念、橋本	長谷川、横江
TEL	03-5521-8261	03-3595-2190	03-5521-8300
FAX	03-5580-3596	03-3503-8563	03-3593-1049
e-mail	netsu@env. go. jp	communityhealth@mhlw. go. jp	heat@env. go. jp

事 務 連 絡
平成 29 年 8 月 8 日

各都道府県消防防災主管部（局） }
東京消防庁・各指定都市消防本部 } 御中

消防庁救急企画室

外国人のための熱中症予防普及啓発用リーフレットの公開について（周知依頼）

平素より救急行政の推進につきまして御尽力いただき御礼申し上げます。
標記の件に関して別紙のとおり、環境省から依頼があり、当庁ホームページへの掲載準備を行っておりました。

今般、ホームページへの掲載が完了しましたので、お知らせいたします。
当該リーフレットの作成には、消防庁も協力し、救急車の利用方法も記載しています。

各都道府県にあっては、リーフレットをダウンロードの上、積極的に配布いただくとともに、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して、ご活用いただけるよう周知のほどよろしく申し上げます。

【環境省熱中症情報サイト 英語普及啓発資料サイト】

http://www.wbgt.env.go.jp/en/heatillness_pr.php

【消防庁熱中症情報サイト 英語普及啓発資料情報】

https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

【連絡先】

消防庁 救急企画室

森川専門官 小川係長 中西事務官

TEL : 03-5253-7529 FAX : 03-5253-7532

E-mail : kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp